

2017年2月23日

各位

積水ハウス株式会社

**福島県双葉郡の復興と、住民の帰還後の生活を支える
「県立ふたば医療センター(仮称)」基本協定書締結**

積水ハウス株式会社(本社:大阪市北区、社長:阿部俊則、以下 積水ハウス)は、福島県が双葉郡の復興および住民の帰還に向けた医療環境を整えるため、双葉郡富岡町に整備する「県立ふたば医療センター(仮称)」の施設設計・建設・工事監理事業者として2月22日(水)に福島県と基本協定を締結しました。同センターは2017年6月1日(木)より着工し、2018年1月末に竣工、開所準備を経て2018年4月に開所する予定です。



双葉郡では、復興関連事業従事者などの増加に伴い、通常医療に加え救急医療のニーズも高まりつつあります。一方、双葉郡の医療提供体制は、診療所の再開・新設など一次医療(風邪や腹痛など日常的な疾病を対象とする医療)を中心に回復の動きが見えるものの、震災前に4病院あった二次救急医療機関(「入院治療を必要とする患者」に対応する機関)は、全て休止しています。政府は、原子力災害に伴い設定された避難指示区域の避難指示を、帰還困難区域を除き2017年3月までに解除する方針を示しており、医療施設の早急な整備が求められています。

「県立ふたば医療センター(仮称)」は、双葉郡の復興および住民の帰還に向けた医療環境を整えるため、福島県が整備するもので、県立医科大学や近隣の中核病院、診療所等と連携・役割分担しながら行う地域診療や、「24時間365日救急医療対応」の二次救急医療、在宅医療、高齢者医療の確保を図ることを担います。

積水ハウスは、医療介護施設の専門コンサルティング組織「医療・介護推進事業部」が医療関連施設の建築実績とそのノウハウを生かして、患者の診療環境やプライバシー、医療従事者の負担を軽減する効率的な導線など高齢者に配慮した設計の工夫を行うとともに、自社工場生産による高品質な部材供給と短工期を実現する施工体制により、復興及び帰還後の住民の生活を支える医療施設の早期整備に貢献します。

【建築概要】

- 物件名 : 県立ふたば医療センター(仮称)
- 設計 : 積水ハウス株式会社 郡山支店、株式会社広建設計
- 施工 : 積水ハウス株式会社 郡山支店
- 事業予定地 : 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚地区
- 構造 : 重量鉄骨造 2階建(Bシステム構法)
- 面積 : 敷地面積/11,175㎡、延床面積/3,609㎡(30床)
- 予定工期 : 2017年6月1日~2018年1月末日(2018年4月開所予定)
- 診療科目 : 救急・総合診療科(救急医療全般、外来的・内科的疾患全般)